



私の COVID-19 から抜け出す方法

神戸大学 経済経営研究所

教授 趙 来勲

コロナ禍で一年半前から対面授業も飲み会もなくなり、歩いていて人と顔を合わせると、お互いにすぐにマスクを着けます。例年であれば、週末はよくプールに行くのですが、2020年3月からプールはすべて閉鎖になり、することがなくなり気分が落ちてしまいそうです。

“マウンテンママとオーシャンパパ”、山と川がとても好きな私は、この二年間の春と夏にかけて、近畿周辺（神戸中心の350km圏内）を車で走破し、一年半で30,000km弱の距離を走りました。子供たちの学校と部活動の制限もあり、出かけるのはほぼ日曜日のみですが、いつも早朝に出発し、夜中に帰宅します。

ここで、観光客が少なく、なおかつ、観光を楽しめるルートをいくつか紹介させていただきます。

まず一つ目にご紹介するのは、天橋立→山陰海岸→鳥取砂丘です。この辺りは、以前も行ったことがあります。とりあえず、子供たちが逆さで天橋立を見るのを喜んでくれるので最初にそこを訪れます。山陰海岸は恐らく4, 5回行ったことがあり、崖海岸、清く澄んだ海水、白い砂浜、魅力が満載です。唯一惜しいところは、海水浴後にシャワーを浴びるところが非常に少なく困ることです。夕方ごろ、鳥取砂丘に到着し、裸足で細かい砂の上を走るとまるでマッサージをされているような気分になります。大きく丸い、沈む夕日を眺め、写真に収めて帰ります。

二つ目にご紹介するのは、奈良、三重、和歌山です。赤目五瀑、横山展望台、丸山千枚田、那智滝、串本町の橋杭。最高の景色コンビだなどと思いつつ、最後、白浜町の円月島で夕日が海の上の洞窟に沈んで眠るのを見ていると、涙がこぼれるほど感動します。ゆっくり遊ぶと一週間ほど楽しめると思いますが、コロナ禍のため白浜のビーチも閉まっていた温泉にも入れなかったため、二回に分けて行ってきました。今頃、赤目五瀑周辺や奥奈良

の山々では紅葉がきれいでしょう。コロナが収束した頃に泊まりに行きたいと思います。和歌山出身の中井さんがいい温泉を紹介してくれると約束いただきました。

三つ目にご紹介するのは、瀬戸内海の備前としまなみ海道です。しまなみ海道はもちろん有名ですが、備前は割と知られていないような気がします。私は以前、韓国出張帰りに飛行機の窓から見た島々が印象的で、検索したらそこが備前だとわかりました。実際に訪れてみると、島と海と橋の理想的な組み合わせで、まるで浮世絵に出てくるような画面でした。福山市鞆町後地の海では魚が群がっていて、網を開いたらいくらでも捕れるような気がします。子供たちによると、昔の日本人は、魚を捕まえて肥料として使っていたそうです。そのような話が教科書に載っているようで、驚きました。しまなみ海道では、瀬戸田サンセットビーチが人気ですが、横島は道が狭く、地元の方しか利用しないような静かな小さいビーチが並んでいます。最後に、亀老山展望公園から夕日が島の淵に落ちるのはまさに油絵ですね。

四つ目にご紹介するのは、四国です。鳴門の大橋と渦潮、祖谷のかずら橋、岩間の沈下橋すべてがユニークですが、私は四国の最南端の足摺岬に行ってみたかったです。地図では四国は小さく見えますが、実際に走ってみるとかなり距離が遠く感じました。気を付けなければならないのは、ガソリンスタンドの少なさです。特に週末には、お店があっても営業していない、あるいは15時に閉まる場所が多かったです。また、帰りに高速道路の一部が理由なく夜間は閉鎖されてしまい、国道は空いていましたが遠回りとなるため、この日は1,000kmも走りました。淡路島から明石大橋を渡って見た神戸方面の島の夜景が長い矩形に見えて最も綺麗でした。そして、明石大橋がほぼ東経135度線と重なり、日本時間JSTが実はKobe Timeだと驚きました。

五つ目にご紹介するのは、岐阜、福井、石川です。目的地がさすがに遠いので、白川郷合掌村に一晩泊まって温泉に入り、飛騨牛いただいてから、能登半島を一周、巡回します。能登島大橋、見附海岸、軍艦島、塩田村、白米千枚田等を見て、帰りに福井の東尋坊にも寄りました。どれも素晴らしかったです。特に千里浜では、車に乗ったままビーチに入れることができますが、そういう場所は日本では少ないでしょう。しかし、このルートも移動距離が長く、往復1,000km以上走りました。

六つ目にご紹介するのは、岡山、島根です。神庭の滝を見て、休暇村蒜山高原でランチを食べて、それから雄大な大山に向かいます。遠くに大山が見えるので、運転するのも快適な気分になります。「大山まきばみるくの里」では草原が長く広がっていたのが印象的です。ミルクィなアイスを食べってから、石見銀山へと出発します。採銀洞窟に入れるツアーにも参加できました。銀の鉱脈が溝のように流れるのが初めてわかりました。訪れたの

は夏だったのですが、洞窟内の気温が外より 15°Cも低かったです。その後、島根牛を食べて、可愛い見た目の三瓶山を経由して帰ります。足立美術館は次回行くこととします。

そして最後にご紹介するのが、この一年半で 6 回も行った琵琶湖です。神戸近辺のビーチが閉鎖されていたため、主に近江舞子水泳場に行って泳いでいました。この辺りの砂が白っぽく、水も清く澄んでいます。この水泳場は駐車場も完備し、JR 電車でも行けるので、いつでも賑やかです。景色だけで言えば、さらに北に位置するマキノ・サニービーチが一番です。湖面の上に高い山がそびえ立つのが見え、まるでここはハワイ？かというような感覚になります。つづら尾崎展望台では、夕日が湖面に沈む様子も素敵ですが、もう少し足を延ばして日本海側に行くと、三方五湖があり、そこから見る夕日はもっと素晴らしいです。ただし、琵琶湖の湖西道は道が狭いので、いつも渋滞です。